

～ 末 丸 賞 ～



三好 智子

略 歴

昭和48年11月20日生
平成10年3月 高知医科大学医学部卒業
平成14年10月 岡山大学医学部附属病院
平成16年4月 岡山大学医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝
内科学 研究生
平成18年4月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 総合診療内科
平成18年9月 学位修得
平成19年7月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 中央検査部助教
平成21年4月 岡山大学病院 中央検査部助教
平成22年5月 岡山大学病院 医療教育統合開発センター助教
現在に至る

業 績 の 要 旨

受賞者は現在岡山大学医療教育統合開発センター教官ならびに岡山大学病院卒後臨床研修センター医科部門副部門長を務めている。

医療教育統合開発センターの活動としては、中央検査部（総合診療内科）在籍時から現在に至るまで、臨床における多学部間医学教育に熱心に取り組んでいる。特に臨床における医療チームを想定した、医学科学生と薬学科および保健学科（看護学/検査技術科学）学生の医薬保学合同教育といった多学部間教育に重点を置き、総合診療内科での症例検討会に各学部の学生が参加できる環境を整えた。2009年の1年間の延べ人数としては、岡山大学 医学科5年生（140人）、薬学部3年生・薬剤師研修生（94人）、保健学科4年生（看護学19人・検査技術科学56人）が参加し、一緒に症例を検討しながら、チーム医療だけでなくお互いの専門職としてのプロフェッショナリズムを意識する場にもなっている。すでに保健学科では4年生の選択授業となっており、今年度からは薬学部5年生の選択授業に組み込まれることとなった。また、国内外の大学と協力し、学生や教員に対するワークショップを定期的で開催している。

卒後臨床研修センターにおける活動の成果としては、平成22年度研修医は岡山大学病院始まって以来のフルマッチとなり、平成23年度の研修医も過去最大人数の33名を獲得することができた。また、すべての岡山大学病院の卒後臨床研修医の状態を常に正確に把握し適切な指導を随時与えている。加えて、最新の医学教育の手法を極めて熱心に勉強習得し、2011年1月には岡山大学病院卒後臨床研修センターとNPO岡山医師研修支援機構との共催で、岡山県内の多施設の研修医が参加する実技研修『研修医OSCE』を企画運営し、岡山県内の研修医教育のレベルの向上や施設間の連携に貢献した。